

平成16年度八重山群島病害虫発生予報第8号(12月予報)

12月の気象予報 要素別予報

要素	気温	降水量	日照時間
予報	並～高い	並	並～多い

(平成16年11月26日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

域平均の要素別「平年並」の範囲

要素	気温()	降水量(mm)	日照時間(h)
八重山群島	19.7 ~ 20.5	88.2 ~ 151.0	82.4 ~ 104.8

(平成16年11月26日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

12月の発生予報

向こう1カ月間における農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

八重山群島

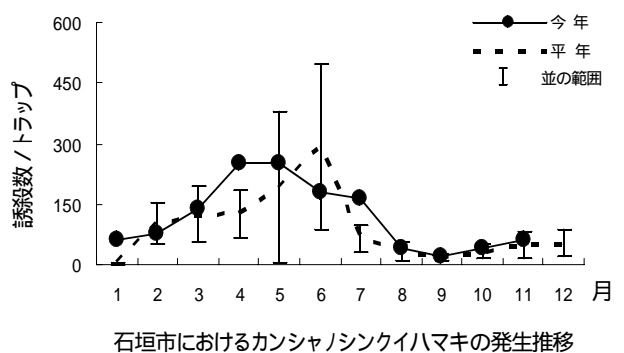
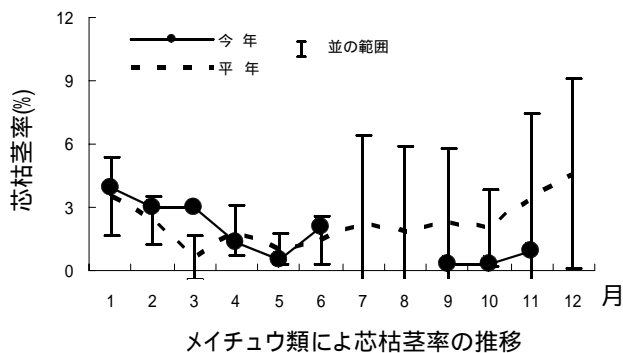
1 さとうきび

(1) メイチュウ類

発生程度：並

予報の根拠

- 11月中旬の調査の結果、新植夏植圃場での芯枯茎率は0.4%（前年0.4%、平年3.5%）と平年並であった。
- 11月のカンシャノシンクイハマキ性フェロモンによるトラップ当たりの誘殺数は64.0頭（前年64.0頭、平年50.4頭）と平年並みであった。



防除上注意すべき事項

加害による芯枯を防止し有効茎を確保するため、生育初期の防除に重点を置く。

野その防除対策について

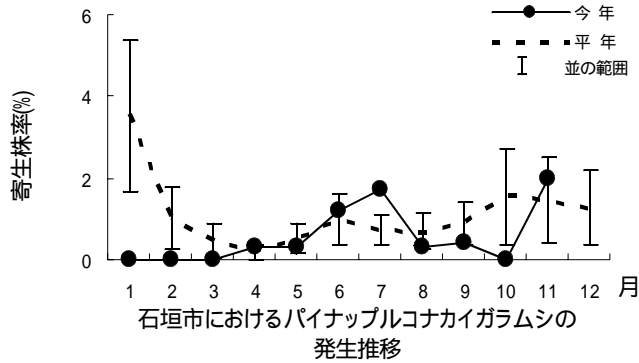
- 被害は台風で倒伏した収穫前の圃場で多くなる。
- 今後のブリックス上昇に伴い加害の増大が予想される。
- 市町村単位で航空防除が実施されたが、例年発生が多い地域では地上防除を併用する。
- 畜舎や原野等の隣接圃場では被害が多いので重点駆除する。
- はく葉等を行い、圃場の環境整備に努める。

2 パインアップル

(1) パインアップルコナカイガラムシ

発生程度：並
予報の根拠

- a 11月中旬の調査の結果、圃場での寄生株率は2.0%（前年0.7%、平年1.4%）と平年並であった。
- b 一部株出し圃場で多発生が見られた。



防除上注意すべき事項

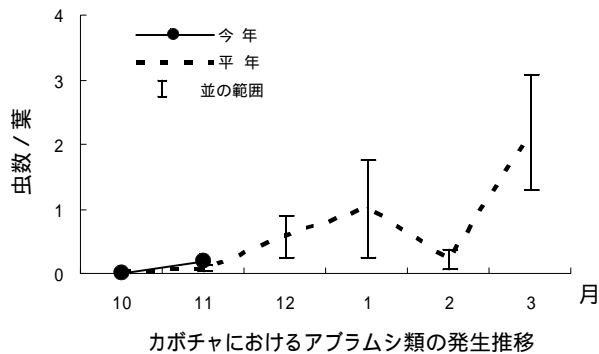
本種は、パインアップルの地上部全体を加害するとともに、萎ちょう病を媒介する。特に、葉の重なった部分に多く寄生するため、薬剤散布時には各部位に十分にかかるように散布する。

3 かぼちゃ

(1) アブラムシ類

発生程度：やや多
予報の根拠

11月上旬の調査の結果、葉当たり虫数は0.2頭（前年0.04頭、平年0.07頭）と平年より多かった。



防除上注意すべき事項

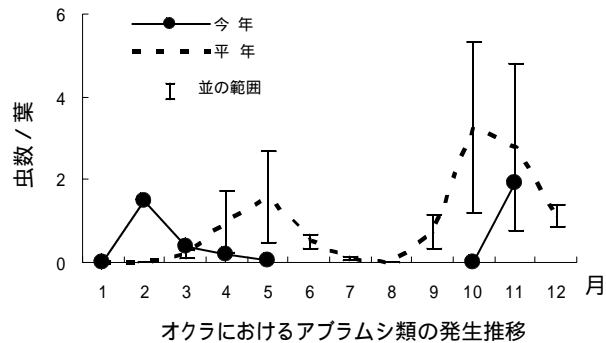
- a アブラムシ類はかぼちゃのモザイク病を媒介するので、飛来定着を防止するため、畝間に防風対策を兼ねたソルゴーなどの障壁作物を植え付けるか、寒冷紗等の資材を利用する。
- b 発生源となる圃場内外の雑草を除去する。

4 オクラ

(1) アブラムシ類

発生程度：並
予報の根拠

11月上旬の調査の結果、葉当たり虫数は1.9頭（前年0.1頭、平年2.8頭）と平年並であった。



防除上注意すべき事項

- a 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。
- b 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用を避ける。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



沖縄県病害虫防除所

本 所	〒903-0814 那覇市首里崎山町4-222 ☎ 098-886-0227 FAX 098-886-0242
宮古駐在	〒906-0012 平良市西里2071-40 ☎ 0980 - 73-2634 FAX 0980 - 72-6474
八重山駐在	〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6 ☎ 0980 - 82-4933 FAX 0980 - 83-1157